

できることから、ひとつずつ。業務のデジタル化推進により業界全体のイメージを変えていきたい

—SmaRyuTruckインタビュー第1弾・株式会社クールトランスポート—



運送会社のデジタル化をサポートするSmaRyu Truck。

このサービスを活用いただき業務の改善・デジタル化に取り組む運送会社へのインタビュー。

第1弾は、埼玉県春日部市にある株式会社クールトランスポート様より、声をお寄せいただきました。元々は大手の運送会社から独立創業された同社。

業界全体として取り組んでいくべき「デジタル化の課題」と、クールトランスポート独自の取り組みについてご紹介いただきました。

▼SmaRyu Truckに関する問い合わせはコチラの画像をクリック！▼

運送会社向け業務支援システム 4%

SmaRyu Truck

日々の運行業務を可視化して、ペーパーレスで簡単に。
限られた工数で最大の売上を実現する。

▼

デジタコとは違う「物流×ITのスペシャリスト集団＝CBcloud」が提供する、SmaRyu Truckの価値



代表取締役
本社営業所 所長

宮城英樹様（写真左）
大澤祐輔様（写真右）

初めてSmaRyu Truckの提案を受けたのは2019年の初頭ですが、実をいうと当時はあまり導入に前向きではなかったんです。請求書まで一括発行できるSmaRyu Truckのサービスはとても魅力的ではあったのですが、車両の動態管理はデジタコを中心に管理体制ができていたので、それらの業務全体を見直すのは大変だな、と。

ただもともとPickGoを利用していた経緯もありCBcloudの「ドライバーファースト」の考え方には強く共感をしていました。そこで、まずは一部の車両で少しかだけ実証実験を一緒にしましょう、ということに。

結果的にこの実験を通じてSmaRyu Truckが私たち運送業界にとって重要な鍵になるという実感を得ることができ、正式導入まで進めることになりました。

機能面でとにかく良かったのは、クラウド上でデータを扱えることです。ドライバーはスマホで、運行管理はノートパソコンで。

(インタビュー実施の2020年7月)は) コロナウイルスが引き続き日本でも猛威を奮っており、オフィスにスタッフを箱詰めにするわけにはいきません。
緊急時には自宅で配車組をするなど、クラウドツールならではの良さを実感しました。

日付	2020年7月22日(水)	発車時間	当日 15:00丁度	準備条件	手入力
区分	市内(ト)	積み場	A工場	発行者	自社 他社
依頼主	ABC株式会社(マニュアル用)	積み場住所	柏市	車両	手入力
担当者	Aさん	引取品	1品/50kg	Dr名	手入力

行き先名称・住所			
名称	住所	排車	編集
Bスーパー	千葉県市	最短	

追加 現地指示 高速利用 可 不可

行き先詳細 手入力

合計計算 総重量 10 kg 予想走行時間 -- 分 予想走行距離 -- km

運賃 上代 0円 下代 0円 立脚金 上代 0円 下代 0円

管理メモ

社内備考

Dr備考

積書備考

発注書備考

請求書記載

マスクから選択

加えて良かったのは、提供者であるCBcloudの開発力の高さです。細かい機能改善や入力の要望を聞き入れていただき、特に他社からも要望が出ているものはどんどん取り入れてくれる。週を追うごとに使いやすくなっていくので「私たちももっと使いこなさないと」という気持ちになりました。



荷主や従業員からも良い反応。デジタル化を進めるキッカケに。

SmaRyu Truckの強みは「配車管理から請求書発行までを一気通貫で行えること」です。この機能自体はとても便利なのですが、導入当時の私たちはPDFやメールで請求書を出すことについて荷主から「前の方法に戻してほしい」と言われないう懸念していました。

またもう1点、SmaRyu Truckではドライバーの日報管理も行うことができるため、従業員から「縛りつけないでほしい」という要望が出ることも不安でした。



ただ、上記の2点はいずれも私たちの杞憂で終わりました。

荷主からは、当社のデジタル化について驚いたというコメントはいただいたものの、喜んでくれる方ばかり。以前は封入・郵送をしていたのですが、誤送のリスクやタイムラグの改善のほうが大きかったですね。利用開始から3ヶ月ほどで、すべての荷主に対してSmaRyu Truckの電子請求書をお送りできる体制を作ることができました。

また、ドライバーの管理について。当初は縛りつけているように見られるのでは、、、という心配をしていたのですが、従業員からは好意的な声が寄せられたのが驚きでした。（当初は多少の反発はあったのですが）

案件情報がちゃんと見えることや車両の動きが見えることが、業務の負荷を平準化させ、従業員からの信頼につながったのだと感じています。

もっと働きやすい運送業界に。デジタル化はそのための第一歩



私たちは大手から独立してクールトランスポートを創業しましたが、少ないメンバーでも、自分たちができることを一つずつ取り組んできました。
法律や規制をキチンと守ること。デジタル化を押し進め無駄な仕事を減らしていくこと。
こうした取り組みの甲斐あって、これまで離職者はほとんど出ておらず、辞めた社員の中には「クールトランスポートの環境の方が良かった！」とあって帰ってきてくれるケースもあります。

なんといっても運送業界はまだまだ「厳しい、しんどい」というイメージが強い。各社の地道な取り組みによって、業界の未来を少しずつ良い方向に変えていきたいです。
そして、そのための最初の一步が「デジタル化」。SmaRyu Truckの導入によって事務業務の負荷はかなり軽くなりましたが、まだまだ改善しなければいけないことは山ほどあります。

従業員の教育、経営管理、案件獲得構造。
業界を取り巻く様々な悩みや課題について、私たち運送会社とCBcloudのようなIT企業が手を組んでいく場面は、今後さらに増えていくでしょう。

▼SmaRyu Truckに関する問い合わせはコチラの画像をクリック！▼

An advertisement banner for SmaRyu Truck. The background is dark with a green overlay on the left side. The text is white and green. It features the company name 'SmaRyu Truck' in large white letters, with '4%' in green above it. Below the name, there is a line of smaller white text: '日々の運行業務を可視化して、ペーパーレスで簡単に。限られた工数で最大の売上を実現する。' On the right side, there is a small green button with a white icon.

運送会社向け業務支援システム 4%

SmaRyu Truck

日々の運行業務を可視化して、ペーパーレスで簡単に。
限られた工数で最大の売上を実現する。